

ほほ笑み便り NO. 2



かんがえやものの見方は人それぞれ



「スイカの色は？」と聞かれたら何色と答えます

か？

赤、緑、黒、黄色、…みなさんは何色を思い浮かべましたか？自分と違う色
答えた人に「それはおかしいよ！」と言えるでしょうか。集団で生活をしているので、
考えやものの見方が違うのは当たり前です。相手を否定するだけではなく、認めて
あげることができるといいかもしれません。人のことを悪く言ったり、否定したりする
よりも、良いところをたくさん見つけられるといいですね。梅雨の時期なので、雨の
日が多いですが、外で遊べない時にでも友達や家族と『〇〇の色は？ゲーム』をや
ってみてください。

- ・葉の色は？
- ・チョークの色は？
- ・鉛筆の色は？
- ・机の色は？

話す時にも「視覚化」を

友達とトラブルになった、何か良くないことをしてしまったなどの場合には、子供
から事情を聞き出したり、説得したり、今後どうしたらよいか正しい方法を説明し
たりすることがあるでしょう。しかし、耳からいくら言葉だけ入れられても、聞いている
方はだんだん何がどうなのか、分からなくなってしまうものです。特に子供のうちは
なおさら混乱してしまうかもしれません。

ここで有効なのが、話の『視覚化』です。

- ① 子どもが話したこと、大事なこと、伝えた
こと、キーワードになるものを紙などに
書きながら（メモでOK）話をすすめる。



② ものごと物事のいんがかんけい因果関係やはなし話のなが流れをず図にしめ示しながらはなし話をすすめる。